

福島県立図書館

第1節 概要

1 運営の重点

県民の情報センターとして数多くの資料を収集整理し、県民に提供しているが、新館開館を一年後に控え、なお一層図書館資料等の収集整理保存につとめ、県内市町村図書館、公民館図書室、その他の機関と協力提携して、図書館奉仕網の整備拡大と利用者への積極的な情報、調査研究資料の提供に努めた。

(1) 図書館資料の整備

県民の情報センターとして各分野にわたる資料を計画的に収集整理を行ない、充実を図った。県人の著作物ならびに郷土資料については、その種別を問わず可能な限り収集し、利用の促進を図るとともに、県民の文化財として保存につとめた。

(2) 調査相談業務の積極化

県内外から寄せられる各種質問等（レファレンス）に応えるために、各分野にわたる二次資料を整備し、調査業務の迅速的確化を図った。県民の資料利用を拡大するためには、県内外の図書館との資料の相互貸借と、複写業務を一層活発に進めた。

(3) 移動図書館車の運用

市町村に対する図書資料の貸出しを行ない、地域の実情に応じた運用を図り、読書普及活動につとめた。利用団体等の実情に即した配本につとめた。

(4) 親子読書文庫の推進

児童に対する読書普及を目的とし、各管内に実施地区を設け、関係者に適切な助言を行って、文庫活動の推進を図った。児童の情緒発達段階に応じた各分野にわたる図書を厳選して編成した。

(5) 読書普及活動の推進

各地の読書講座（読書会、講習会、読みきかせ等）、文庫活動等に対して、常に職員を派遣して助言指導を行ない、その活発化を図った。

2 図書館協議会

本年度の委員は次の方々で、4回開催した。

(1) 委員

成井 正美	福島県議会議員
小林 忠道	福島商工会議所専務理事
山本 ナカ	福島県婦人団体連合会長
田中 寛之	N H K 福島放送局長
今野 康夫	福島県青少年団体連絡協議会長
今泉 修蔵	福島県公民館連絡協議会長
館 光雄	福島県中学校長会長
飯島 譲	福島県高等学校長協会長
鈴木 完一	福島県社会教育委員会議議長
堀口 知明	福島大学教育学部教授

(2) 協議会の開催

第1回 昭和58年8月19日

- ・図書館協議会について
- ・図書館の組織・機構について
- ・県立図書館の運営方針と事業計画について

第2回 昭和58年11月24日

- ・県立図書館の移転作業について

第3回、4回 昭和59年2月23日～24日

- ・県立図書館の運営方針について
 - ・県立図書館設置条例について
 - ・県立図書館利用規則の改正について
 - ・県立図書館の組織について
 - ・昭和59年度県立図書館の事業計画について
 - ・昭和59年度県立図書館当初予算の概要について
- （会場はいづれも福島県労働福祉会館）

第2節 整理事務

1 図書館資料の収集

(1) 一般資料の収集

今年度も引き続いて、基本図書・参考図書の充実に努めた。基本図書の一部に、「講座日本思想」「地域社会と文化」「昭和財政史」「日本貧困史」「日本人と東南アジア」「沖縄民俗学の方法」「現代社会主義の農業問題」「日本古代仏師の研究」「新修中国詩人選集」などの図書がある。

参考図書の主なものとしては、「日本古典文学大事典」「中國人名辞典」「パンダル大辞典」「タイムス海洋大地图」「J I Sハンドブック」等がある。

全集・資料集の主なものでは、「日本古文書学講座」「現代都市政策叢書」「戦後日本教育史料集成」「日本佛教民俗基礎資料集成」「新村出全集」「特産シリーズ」等がある。

美術書では、「密教美術大観」「日本画素描大観」「現代日本の陶芸」「中国石窟」等がある。

寄贈図書のなかには、基本的な統計書の一つである「世界農林業センサス 1980」や、その他「朝鮮関係資料目録」「日中友好運動史」「日本公園緑地発達史」「日本の治山」「日本地震資料」等がある。

受入れ状況は（表1）のとおりである。

[表1] 資料の受入れ整理状況
(昭和58. 4～59. 3)

区分	購入	寄贈	編入	管理換	計
一般図書(館内)	4,421	3,358	220	9	8,008
一般図書(館外)	4,690	2,672			7,362
児童図書(館内)	1,350	448	—	—	1,798
児童図書(館外)	4,199	2,741			6,940
新館用図書(館内)	12,600	—	—	—	12,600
小計(館内)	18,371	3,806	220	9	22,406
小計(館外)	8,889	5,413			14,302
合計	27,260	9,219	220	9	36,708